

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援ヘルテール富津園		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ~ 2025年 12月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・地域との交流ができる環境にある事。 (富津市立図書館、イオンモール内店舗など)	・毎月、図書館と交流の機会を設け、図書館のお仕事の手伝いをさせていただいている。 ・行事によってイオンモール内の店舗に協力いただき、地域との交流に努めている。	・図書館との交流内容を先方と一緒に考え、お手伝いの内容を充実させていく。 ・地域との関りができる活動を積極的に企画していく。
2	・療育内容の充実	・活動プログラムが固定化しないよう、各職員が意識しながら立案を行っている。また、子どもが楽しみながら支援につながるような活動を設定している。	・子どもたちの力を伸ばすためにどのような活動、関わりが必要なのか、職員で定期的に話し合いの場を設けていく。
3	・園内の環境により、個別対応が可能。 (個室、放デイ療育室、児発療育室が仕切れる為)	・気持ち不安定な子がいた場合、別部屋を促すことで適切にクールダウンを図れる。 ・活動によって、療育室を分けることで少人数で対応することができる。	・クールダウンができる環境がある事を子どもにより周知し、過ごしやすい環境にしていく必要がある。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・関係機関(小学校、保育園など)との連携があまり取れていない。	・多機能の為、時間調整が難しい時がある。	・業務の見直しや改善を図り、他機関との連携を定期的に行う環境を設定する。
2	・職員全員で話し合う時間が取りにくい。	・多機能の為、時間調整が難しい時がある。職員全員で話し合う時間がなかなか取れないため、療育の充実化に時間がかかる。	・業務の振り分けや、見直しを行い、時間を作り出す必要がある。 また、今まで以上に職員同士で声を掛け合いながら連携して業務を進めていく必要がある。
3			